

事業所名

デイサービスdash新小岩

支援プログラム

作成日

令和6年

9月

11日

法人（事業所）理念		医ケアがあっても重度の障害があっても、ご家族様に寄り添って、一緒に子供の笑顔を作りたい。								
支援方針		楽しく過ごせる場となるよう、子供たちの意思を尊重し寄り添った支援をしていく。その中で苦手なことや難しいことにも挑戦し、学びや成長を促せるよう支援していきます。								
営業時間		放課後 休校日	13 09	時 30	分から	17 16	時 00	分まで	送迎実施の有無	あり
支 援 内 容										
本人 支援	健康・生活	毎日のバイタルサイン（体温・脈拍・SpO2）測定をするとともに、意思表示が難しい子どもの障害の特性や発達の過程・特性を考慮し、小さなサインから心身の異変に気づけるよう、細やかな観察を行います。 睡眠、食事、排泄など基本的な生活のリズムを身に付けられるよう支援します。また、健康な生活の基本となる食事の力を育て、口腔内機能や感覚などに配慮しながら、楽しく食事ができる環境を整えます。さらに、病気の予防や安全にも配慮します。								
	運動・感覚	日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や上肢・下肢の運動・動作の改善・習得、関節の拘縮や変形の予防、筋力の維持・強化を図ります。 姿勢の保持や各種の運動・動作が困難な場合には、様々な補助用具や姿勢保持装置などを活用し、これらを行う能力を支援します。 保有する視覚、聴覚、触覚などの感覚を十分に活用できるよう、遊びなどを通して支援します。又保有する感覚器官を用いて状況を把握しやすくするため、眼鏡や補聴器などの補助機器を活用する支援を行います。								
	認知・行動	視覚、聴覚、触覚などの感覚を活用して、必要な情報を収集し、認知機能の発達を促します。又環境から情報を取得し、選択し、行動につなげる認知過程の発達を支援します。 物の機能や属性、形、色、音が変化する様子、空間・時間などの概念の形成を通じて、認知や行動の手がかりとして活用できるよう支援します。 認知の特性を踏まえ、情報処理や認知の偏りに対処し、個々の特性に合った支援を行います。また、こだわりや偏食などにも対応します。								
	言語 コミュニケーション	家庭や学校との意思疎通を行い児童への理解を深め、個々の児童に合った言葉だけではなく、絵カード・身振り・手振り・ジェスチャーなどの非言語コミュニケーションでの相互理解を図ります。 具体的な事物や経験と言葉の意味を結び付け、体系的な言語の習得や自発的な発声を促進します。 個々に合わせた状況での相互作用を通じて、共同注意などのコミュニケーション能力の向上を支援します。								
	人間関係 社会性	人との関係を築き、信頼関係を基盤として、周囲の人と安定した関係を形成するための支援を行います。 一人遊びや集団遊びの活動を通し、自己理解・他者理解を養います。 朝の会や帰りの会でそれぞれの役割を割り振り、集団活動でのルールや役割を学べるよう支援します。								
家族支援		家族から寄せられた相談に対し、親身に寄り添い適切な支援をします。				移行支援		保護者への他事業所等の情報教示。 利用者の通われている学校との情報共有。		
地域支援・地域連携		主治医や相談支援専門員、関係機関（訪問看護やリハビリなど）との情報共有を行います。				職員の質の向上		月1回程度の社内研修の実施。 必要時、社外研修の受講。		
主な行事等		科学館や水族館等の外部施設へのお出かけ。 保育園に伺い、同年代のお友だちとの交流。 お花見や夏祭り、ハロウィン等季節の行事。								